科目ナンバリング	U-LAS15 10003 LJ58								
授業科目名 <英訳>	基礎地球科学B （地球システムと環境） Introduction to Earth Science B [Earth system and environments]				担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 教授　　石村　豊穂			
群	自然科学科目群			分野(分類)	地球科学(基礎)			使用言語	日本語
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	金1	配当学年	主として1回生	対象学生	理系向		

[授業の概要・目的]

地学を学んでいない学生でも地球環境の変化と人類の未来を俯瞰できるように，地球が誕生してから現在までの地球環境の変化や自然現象，そして地球システムとの関係について講義する．地球環境の変化が社会システムや国際情勢の変化に及ぼす影響や，産業革命以降の人類の意識変化とその成熟についても言及する．文明の発展と科学技術の進歩が環境に及ぼす影響を常に念頭に置きながら，持続可能な地球環境の未来を創造する意識の醸成を目的とする．

[到達目標]

地球物理学，地球化学，地質学の分野の観点から地球システムを学びつつ，地球環境科学の研究動向と国際的な取り組みについてその概要を理解する．
より良い未来のために我々人類は今後の環境問題に対してどのような行動・価値観で臨むべきかを理解し，環境倫理を分野を問わず多面的に捉える視点を養う．

[授業計画と内容]

以下のテーマについて、それぞれ1-3回の予定で授業を行う。
（1）　地球システムの概要（大気と海洋）
（2）　環境問題（温暖化と国際的な取り組み）
（3）　環境問題（オゾン層の破壊と回復）
（4）　環境問題（近年の環境汚染，海洋酸性化など）
（4）　大気海洋の相互作用
（5）　生態系と地球環境の相互作用
（6）　環境倫理・環境哲学
（7）　まとめ ～未来の地球環境～
授業はフィードバックを含め全15回で行う

[履修要件]

高校地学の内容に沿いつつ，近年の環境問題と関連して扱う講義内容です．
地球科学の初学者はもちろんのこと，高校において物理や化学の履修経験がない方でも理解できるように講義を進めます．
「基礎地球科学A (地球システムの歴史と変遷)」「基礎地球科学B (地球システムと環境)」を併せて履修することを強く推奨します．

[成績評価の方法・観点]

出席と参加の状況，試験/レポートにより評価する．
詳細は初回授業で説明する．

基礎地球科学B （地球システムと環境）(2)へ続く↓↓↓

基礎地球科学B （地球システムと環境）(2)

[教科書]

特になし（PDFもしくは印刷体でプリント配付予定）

[参考書等]

（参考書）
『もういちど読む数研の高校地学』（数研出版）ISBN:4410139592

[授業外学修（予習・復習）等]

次回講義範囲については昨今の動向についてインターネット等で情報を収集し予習を行うこと．講義用ノートおよびテキストを見直して復習し，関連する事象についての動向を把握して理解を深めること．

[その他（オフィスアワー等）]

基礎地球科学A/Bは同一時間帯にそれぞれ2クラス開講します．担当教員ごとにA(前期)とB(後期)の構成が異なるので、AとBの両方を履修する場合には，同一教員のクラスを受講することを前提とします．